



JASDAQ

平成 27 年 7 月 28 日

各 位

東京都千代田区神田錦町三丁目 17 番地 11

株式会社ジェクシード

(URL <http://www.gexeed.co.jp>)

代表者名 代表取締役 野澤 裕

(コード番号：3719)

問合せ先 経理 IR 部マネージャー 町田 英彦

電話番号：03-5259-7010

平成 27 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 13 日に公表いたしました平成 27 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）の業績予想及び、平成 27 年 12 月期通期業績予想を最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	385	△8	△12	△14	△0 円 96 銭
今回発表予想 (B)	323	△31	△29	△30	△2 円 05 銭
増減額 (B-A)	△62	△23	△17	△16	—
増減率 (%)	△16.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	371	△55	△57	△77	△6 円 18 銭

2. 第 2 四半期累計期間業績予想の修正理由

当第 2 四半期累計期間における当社を取り巻く市場環境は、国内企業の収益改善等の活発化が推進され、多くの企業は積極的に事業拡張や差異性を図るなど成長戦略を立てており、当社の主要ビジネスである人事のマネジメント「タレントマネジメント」及び「システムコンサルティング」など専門性に特化したビジネスコンサルティングの商談・需要が旺盛となっており、また、当社の実績を高く評価した海外企業から、ERP コンサルティングや人事系コンサルティングの商談案件も増加傾向にあります。

このような市場環境の中、当社の第 1 四半期会計期間（平成 27 年 1 月～3 月）は、新製品開発準備、プロジェクト管理強化等の仕組み作りに重きを置きました。第 2 四半期会計期間（平成 27 年 4 月～6 月）は、積極的に受注活動とコスト削減を実施いたしました。この結果当第 2 四半期会計期間においては、営業利益、経常利益、四半期純利益を計上できる見込みとなりました。

当第 2 四半期累計期間においては、第 1 四半期会計期間の業績の低迷により、売上高が減少し、営業損失、経常損失、四半期純損失を計上する見込みとなりました。

これらの結果、売上高 3 億 23 百万円（前回予想比 62 百万円減）、営業損失 31 百万円（前回予想比 23 百万円減）、経常損失 29 百万円（前回予想比 17 百万円減）、四半期純損失 30 百万円（前回予想比 16 百万円減）と、業績予想を修正いたします。

3. 平成 27 年 12 月期通期業績予想の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	880	22	13	9	0 円 65 銭
今回発表予想 (B)	782	6	4	1	0 円 07 銭
増減額 (B-A)	△98	△15	△8	△7	—
増減率 (%)	△11.0	△72.6	△63.2	△88.4	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 12 月期通期)	682	△83	△86	△109	△8 円 61 銭

4. 通期業績予想の修正理由

当社は、「ERP コンサルティング」「人事コンサルティング」「製品サービス」の 3 つを事業の柱として業績回復を図るため変革を行い、ソリューションラインナップを拡充し、製品ベンダー、同業他社とのパートナー提携の拡大を図っております。当第 2 四半期累計期間の業績予想の修正並びに、当社を取り巻く事業環境の見直しと検討を行い、上記の通り平成 27 年 12 月期（通期）の業績予想を修正いたします。

売上高については、第 2 四半期までの業績予想及び今後の売上見込みに基づき 7 億 82 百万円（前回予想比 98 百万円減）、営業利益については 6 百万円（前回予想比 15 百万円減）、経常利益 4 百万円（前回予想比 8 百万円減）、当期純利益 1 百万円（前回予想比 8 百万円減）を見込んでおります。

なお、上記平成 27 年 12 月期通期業績予想に関しましては、本資料発表時点において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上